

令和元年度

事業報告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

令和元年度事業報告

【社会福祉事業】

○地域福祉活動の参画と支援

1. 桜川市介護認定訪問調査への職員派遣
2. 中学・高校・大学・ヘルパー養成校、実習生受け入れ及び実技指導と見学実習の受け入れを行う
3. 民生委員の施設見学と意見交換等実施
4. 各保育園の地域福祉施設への訪問交流

【公益事業】

1. 地域福祉活動の積極的な参加
2. 居宅支援事業
3. 桜川市・つくば市・土浦市・石岡市の児童、生徒の福祉体験学習のための講師派遣と施設体験
4. 保育園・小学校との積極的な就園前のアプローチ、園児・小学生・職員の保育園及び小学校への体験を通して、情報の共有と連携
5. 防災・交通安全・警察官の交通指導、消防職員の避難訓練等の連携指導
毎月の訓練実施
6. 公職選挙法に基づく不在者投票所の設置
7. 施設行事を通して、地域の行事等にも参加し、交流を図る

【収益事業】

○高齢化社会の中で適切なサービスを実施

1. 特別養護老人ホーム設置経営（64名）
2. 短期入所生活介護（10名）
3. 地域密着型通所介護事業（15名）
4. 居宅介護支援事業

○少子化の中での子育て支援事業

1. 東平塚保育園（90名）
2. 童話館保育園（70名）
3. りんりん保育園（70名）

【その他】

- ・ 特別支援学校に対する就労・雇用の提供
- ・ 地域高齢者虐待・見回り・園児虐待に対する連携
- ・ 障害児の受け入れ態勢強化・法人内各施設の行事等の連携参加等
- ・ 地域子育て支援拠点事業

令和元年度 社会福祉法人リベルテ理事会等の報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

月 日	項 目	内 容
5月24日 (金)	法人の 決算監査	令和元年度法人会計全般、定款細則第12条による(別紙監査項目と監査結果について)
5月26日 (日)	第1回 定例 理事会	議案第1号:令和元年度事業報告の承認について 議案第2号:令和元年度収支決算の承認について 議案第3号:役員選任候補者の推薦について 議案第4号:評議員会開催日程について
6月16日 (日)	第1回 定例 評議員会	議案第1号:令和元年度事業報告の決議について 議案第2号:令和元年度収支決算の決議について 議案第3号:理事の決議について 議案第4号:監事の決議について
6月16日 (日)	第2回 定例 理事会	議案第5号:理事長の選任について 議案第6号:業務執行理事の選任について (議案の前に理事・漢字の委嘱書交付)
9月15日 (日)	第1回 臨時 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第7号:保育園運営規程全文改定について 議案第8号:評議員選任・解任委員の役員変更について
令和2年 3月29日 (日)	第3回 定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第9号:令和2年度事業計画(案)について 議案第10号:令和2年度収支予算案について 議案第11号:サンホーム真壁居宅介護支援事業所運営規程一部改正について

令和元年度 サンホーム真壁 事業報告

特養・短期入所

超高齢化社会に対応するため社会福祉法人は、創意工夫して地域社会と連携し、入所者が自立した日常生活を営むことができるよう援助をしております。

また、特養の入所要件が要介護3以上になったことに伴い、認知症や重度者の対応ができるよう研修に参加する機会をつくり、資質向上に努めております。

嘱託医との連携を図りながら、入所者の健康管理を行ってまいりました。

また、家族の意向を尊重し看取り介護も行っております。

通所介護

小規模事業所の特性を活かし、利用者一人ひとりの心身の状態に合わせたサービスの提供を行ってまいりました。

また、利用者の意向を考慮しながら年間を通してさまざまなイベントを計画し、楽しい時間を過ごしていただきましたが、新規利用者の獲得には繋がりませんでした。

居宅介護支援事業所

介護保険法の理念に基づき、要介護状態になっても住み慣れた自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、適切な居宅サービス計画を作成しました。

また、緊急の依頼があった場合も迅速に対応ができる体制づくりをしてまいりました。

平成31年度 サンホーム真壁の主な事業・催事等の報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

四半期		項目	実施内容
第1	4～6月	じゃが芋植え付け	・じゃが芋の苗を植える（準備3月）
		花見会	・施設内での花見会及び近隣公園等での桜鑑賞会
		端午の節句	・菖蒲湯入浴
		母の日の集い	・行事食の提供(昼食、おやつ) ・地域ボランティアによるフラダンス、四ツ竹踊りを鑑賞
		春の外出	・買い物、外食等の希望外出
		さつま芋植え付け	・さつま芋の苗を植える
		紫陽花見学	・雨引観音へ外出し紫陽花を鑑賞
		父の日の集い	・行事食の提供(昼食、おやつ) ・地域ボランティアによるよさこいソーラン鑑賞
		第一回法人内交流	・保育園との交流事業 じゃが芋掘り、園児による遊戯鑑賞
第2	7～9月	七夕	・利用者、職員による七夕制作、飾り付け
		納涼祭	・夏祭り、お祭りバイキング 家族、ボランティアとの交流事業
		敬老会	・長寿のお祝い、お楽しみ会 ・行事食 天ぷらバイキング、地元山口屋の蒸かし饅頭など
第3	10～12月	秋の外出	・買い物、外食等の希望外出
		第二回法人内交流	・保育園との交流事業 さつま芋掘り、園児による遊戯鑑賞
		運動会	・玉入れ、パン食い競争、綱引きなど
		芋煮会	・利用者による調理レクリエーション、会食
		菊見学	・大宝神社へ外出し菊祭りを見学
		そば会	・大和そば会による手打ちそば実演 ・行事食の提供
		クリスマス会	・クリスマス会、クリスマスプレゼント、デザートバイキングなど
		もちつき	・職員による餅つきを見学、行事食の提供(おやつ)
第4	1～3月	新年会	・握り寿司実演、食べ放題
		節分	・利用者による豆まき、年男、年女のお祝い
		ひなまつり	・雛人形飾り付け ・ひなまつり 行事食の提供(昼食、おやつ) ・町内へ外出し真壁雛祭りを見学

令和元年度 サンホーム真壁 会議・委員会報告

【会議・委員会】

開催頻度	会議名	内 容
毎月1回	施設会議	施設運営全般について
	入所検討委員会	入所希望者の情報共有、検討会 (各関係機関等への参加要請)
	給食委員会	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討
	防災・環境委員会	施設内・外の自主点検など
	レク委員会	催事等の実施内容の検討など
随時開催	感染症対策委員会	感染症などに対する対応方法の検討など
	褥瘡委員会	褥瘡予防や対応方法の検討など
	担当者会議	施設内連絡・調整、実施計画の策定など
	看取り委員会	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)

【その他】

項目		内 容
防災訓練 (年2回以上)	令和元年12月25日	夜間想定総合訓練、 消防署職員の指導による消火訓練
	令和2年3月12日	総合訓練
苦情処理	無	無
特記事項	無	無

東平塚保育園における自己点検・自己評価（管理職用1/2）

2020.【3月総評】

- 5：だいへん良い
- 4：良い
- 3：大体良いが更に良くできる（もう少し学べば深められる）
- 2：検討を要する
- 1：改善を要する

※職員の自己評価の集計を基に園長が評価をしています。

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	職員平均	意見・改善策
① 保育目標	(1) 目標は、どのように特色を生かしているか説明してきたか。	4	次年度の計画を作成する際に、職員会議等で前年度の反省を踏まえて引継ぐことで特色が出せる様にしてきたとの意見が多かった。
	(2) 目標は、全職員を検討し、かつ共通理解図れたか。		
② 保育	(1) 保育所保育指針をひきまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導できましたか。	4	以上児は縦割り保育を積極的に行い子どもたちの興味を持てる環境づくりができた。未満児は政策を通して感触遊びを取り入れるなどつながりのある保育ができた。
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けができたか。		
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めることができたか。		
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実施できたか。	5	行事等の企画表作成は昨年担当者の反省をもとに作成しており、さらに主任や園長のアドバイスを受けながら作成しています。保護者からのご意見等は職員間で共通理解ができるよう努めてきた。
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしてきたか。		
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっていたか。		
④ 食育	(1) 目標は全職員で検討し、かつ共有できるようにしていたか。	4	食育は地域状況や、子どもたちの環境を考慮し、保育士と栄養士が話し合いながら年齢に合わせた計画を立てて進めています。
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言してきたか。		

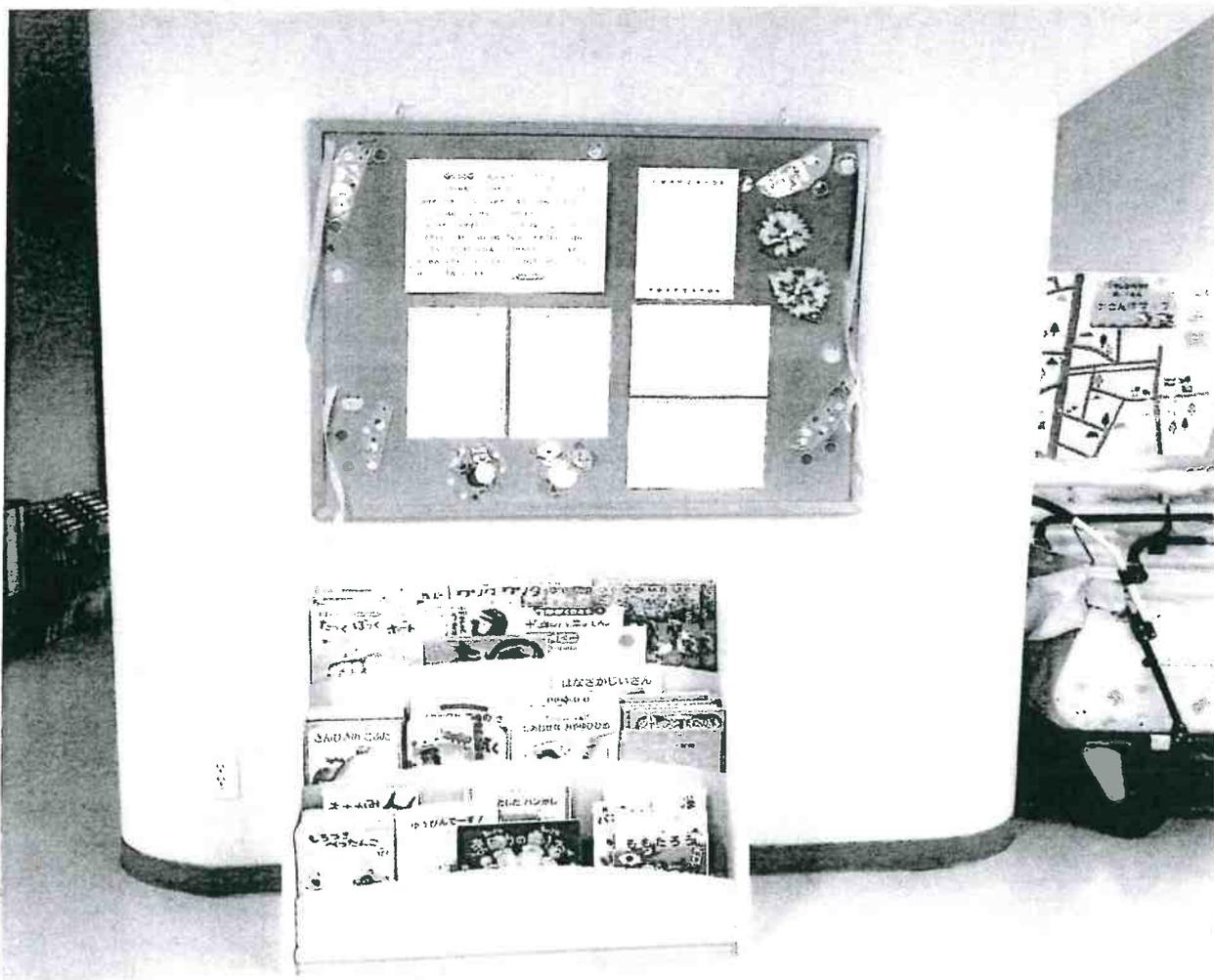
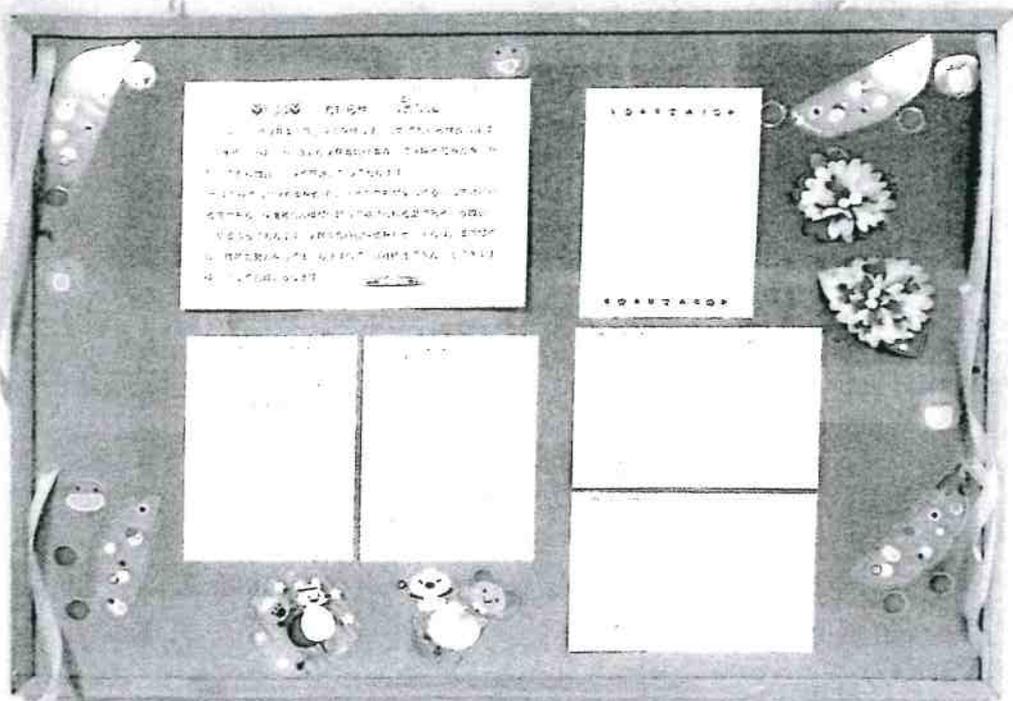
II. 開かれた保育園づくり

項目	内容	評価	意見・改善策
① 施設間連携	(1) 他施設等と交流ができたか。	4	参観の時期や回数はちょうどよいと判断している。他施設との交流は毎年十分とは言えないが子どもたちが参加を楽しみにしているので今後も計画を実施していきたい。
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知できたか。		
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かされたか。		
② 地域・家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日を設定できたか。	4	年に1回は自由参観を計画しているため、保護者の希望にも沿っていると評価しています。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切だったか。		
③ 子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放できたか。	4	保育園の見学者を対象に子育ての相談に対応したり、必要に応じて主任や園長が行っています。
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実できたか。		
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供できたか。		
④ 発信情報の	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信できたか。	4	情報の発信はホームページやつくば市便利帳又はつくば市子育て便利帳などに掲載しています。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知できたか。		

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	意見・改善策
① 体制	(1) 職務内容が明確で協働できる体制にできたか。	4	園長や主任のアドバイスをもとに各職員の役割や分担には責任をもって取り組む体制になっている。またいつでも見直しできる体制になっているので、臨機応変に対応している。
	(2) 係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうか見直しできたか。		
② 運営	(1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わるような環境作りをしてきたか。	4	会議に参加できる職員を最大限にしているが、なかなか時間が取れず限られた人数になってしまう。また、軽微な怪我でもヒヤリハットを利用し保育の参考になるよう努めている。問題点等があれば各会議を通して共通理解できるよう努めている。
	(2) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切にできたか。		
	(3) 「ヒヤリハット」を記録・共有するようにし、以後の保育に役立てられるようにできたか。		
③ クラス別運営	(1) 年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導できたか。	4	各会議等で問題点が生じた場合には園長をはじめ主任や副主任などで内容を検討し、職員におろしたり、立案の時の参考にできるよう配慮してきた。また、職員間の連携も、おおむね取れていると判断する。
	(2) 職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等ができたか。		
	(3) 評価（資料・諸記録）等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善ができたか。		
④ 保健・安全指導	(1) 避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施できたか。	4	前年度の反省をもとに主任と協議して避難訓練や交通安全指導を行っている。健康面では看護師が主になって進めており、アレルギー児の対応は保護者との連携を密に、担任と栄養士、または職員全体で共通理解を進めています。
	(2) 乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図ってきたか。		
	(3) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしてきたか。		
⑤ 研修	(1) 研修の計画・運営は適切だったか。	4	外部の研修は全職員が参加するよう計画を立てています。また、内部研修や法人内研修も行っており、研修の報告は、毎月の職員会議で報告したり、園内研修に取り入れられています。
	(2) 自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしてきたか。		
⑥ 情報	(1) 守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱ってきたか。	4	守秘義務や、個人情報又はクラスの状況（個人的な情報含）等は年度初めの職員会議で確認しており、担任以外の職員も周知できる体制にしている。公文書や各表簿については適正処理をしています。
	(2) 子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めてきたか。		
	(3) 公文書收受、発信、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理できたか。		
⑦ 施設設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしてきたか。	4	担当職員や毎日の当番、又は担任がそれぞれ安全点検を行っている。さらにチェック表を元に主任が点検をしており、不審者に対しても、常に外部からの来訪者に気を付け、訓練も実施しております。
	(2) 不審者に対応する配慮を行ってきたか。		
⑧ 経理納	(1) 資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしてきたか。		

令和元年度 保育園自己評価揭示



R1年度 事業報告

童話館保育園

今年度初めの目標の安心、安全の保育、職員みんなであたたかい保育の提供をと努力してきた。職員同士の調和、協力体制の土台もしっかり築けている。

それぞれの考えや経験により意見の相違もあるが、一人一人の職員が持つて能力を發揮し、楽しい保育の提供ができたのではないかと感じている。管理者として、常に声掛けをし見守り必要ならば、面談をし相談にのり、本人の気持ちに寄り添いながらも修正の必要があるなら修正して仕事をしていく上でみんなが不安を抱えることのないよう気遣ってきた。また、主任、副主任との連携をとることで管理する側の考え、注意点、業務内容などあらゆることに、理解を求めて対応するようにしっかり伝え業務に取り組んできたが、まだまだこれから課題はあるように感じる。

また、男性保育士の役割、保育に対する方向性など安定した保育の重要性を伝え、最近の保育士による虐待の実態なども踏まえ、保育士としてふさわしい言葉遣い、接し方なども再確認しながら進めて

きた。今後もそれぞれの良い部分を伸ばし改善してほしい部分は、指導しながら職員全体で対応することを継続していく。

なお、年度末は新型コロナウイルスの影響により行事の縮小、内容の時間短縮などの考慮、また今まで以上に衛生面に気遣いながら運営する必要性を感じ今に至っている。

R2年度は、県の意向に沿って土浦市も待機児童を出さないようにする為、4月スタートが定員を超えての76名となる予定である。

今後も保育の内容の見直しをしながら、保育の質の向上に力を入れ選ばれる園になる為、職員一丸となって保育理念にあるみんなが楽しい保育園を目指していきたい。

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	1 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		2 職員の配置は適材・適所か。	○				◎自ら意識、動くことが出来るように、又、権限付に
		3 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				仕事の手助けが出来る環境作りも大切である。
	運営	1 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				◎年令別会議を通して各クラスの状況を把握し、職員一同、力をあわせて保育に取り組む環境作りをしていく。
		2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		3 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス運営	1 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		2 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				◎ねらいに合った保育を継続して行うことで
		3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				成長を
		4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				理解し、それを活かして丁寧な保育をするための
		5 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				大切さを伝える。
	保健・安全指導	1 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		2 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		3 乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関と連携をはかっているか。	○				
	研究・研修	園内研究・研修	1 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		
2 園内研修の計画・運営は適切か。				○			ものを職員全員に
3 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映しているか。			○			図知し、共通理解を	
4 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○			図り保育にある。	
所外研究・研修		1 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			
		2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。		○			
	2 公文書・受信・発信処理を適切に行っているか。		○			
	3 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	1 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				①不審者対応の高 品質の警備と 契約している。
	2 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	3 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			②遊具は、必ず使用 する前に保育士が 自視だけでなく、触って 確認することで、 より一層安全に使用される
	4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
経理	1 各種会計を通正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育園づくり （家庭・地域社会との連携）	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○				よりにある。
	2 指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	3 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	1 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
	2 (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	3 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

※ 新型コロナウィルスの感染拡大防止の為、行事の縮小等。

例年と同様には、行えなくなるものが増えること思う。

しかし安心、安全を第一と考え、皆で内容については、

良く考え、意見を申し出て進めて行くことになる。

職員も、体調管理をしっかりと行い、十分に気を付けて

保育に臨んでほしい。

今年度より、児童受け入れ枠拡大のため、規模構造変更届を提出し定員を 70 名に変更し、3~5 歳児クラスの 12 名定員から 13 名の受け入れを可能としました。0 歳児も 7 月には 9 名まで増えて、0 歳児の確保により安定した運営につながったと思います。今後も園の良い評判により園児の確保につながるよう質の向上に努めていきたいと思っています。

今年度は、新保育指針の内容を基本におき保育を進めて参りました。「子どもの主体性を引き出す保育」をテーマに、常に話し合いを持ちながら、試行錯誤の保育を経験しました。園児も職員も新たな保育の実践でとても楽しく、充実した内容になったと感じています。

また、保育士不足の現状で 今いる職員に長く勤務してもらう為、職員が働きやすい職場作り、行事の見直し等で仕事を持ち帰らないようにするなど職員の負担を少なくする環境作りをみんなで考え意見を出し合いました。

研修では、全職員がキャリアアップ研修を受講し、園に貢献・反映できる内容を伝え、園内研修の充実を図りました。

新年度は、送迎バスの利用者が少なく、人件費・車両維持費等の出費が多くなる為、バスの利用をなくす方向で行きたいと思っています。現在利用している 1 名においては、本部の軽自動車を借用し、1 年間対応していきたいと思っています。

2019年度 年間行事予定

りんりん保育園

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考		
日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月		日	月
1	水	1	木	1	金	1	土	1	日	1	月	1	火	1	水	1	木	1	金	1	土	1	日	1	月	< 保育園行事 > 4/1 入園式・始業式 4/26 子どもの日集会 5/9 田植え 5/13~2/17 懇談会 6/3 11/11 内科検診 6/6 11/6 尿検査 6/13 11/14 歯科検診 6/14 1/24 保育参観 7/5 七夕集会 7/6 夏祭り 7/10 プール開き 8/2 お楽しみ保育 9/12 稲刈り 9/13 お月見会 9/28 運動会 10/15 芋ほり 10/25 親子遠足 12/14 発表会 12/24 クリスマス会 1/8 餅つき 2/3 節分集会 2/28 お店屋さんごっこ 3/3 ひな祭り集会 3/6 お別れ遠足 3/16 お別れ会 3/23 卒園式 3/31 修了式 ※身体測定、誕生会、避難訓練は毎月 ※交通安全教室は偶数月 ※園内研修、職員会議、給食会議は毎月下旬に行う。
2	火	2	火	2	水	2	木	2	金	2	土	2	日	2	月	2	火	2	水	2	木	2	金	2	土	
3	水	3	水	3	木	3	金	3	土	3	日	3	月	3	火	3	水	3	木	3	金	3	土	3	日	

平成31
令和元年

年度りんりん保育園における自己点検・自己評価

次のような基準で
評価してあります。

[A]…大変良い

[B]…良い

[C]…一部検討を要する

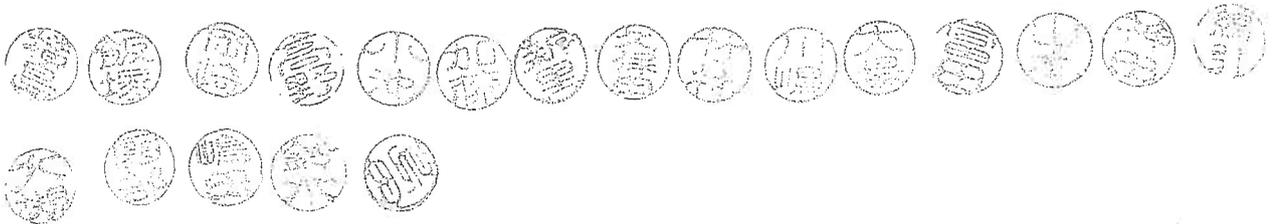
[D]…改善の必要あり

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点
保育課程について	(1) 保育課程は子どもの発達や保育の内容に沿ったものになっているか	✓				<ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱、5領域、10の姿をねらいとして保育計画を立ててきた。 ・子どもの主体性を育む保育計画を立案した。 ・支配・管理から後者を多く取り入れる保育内容とした。 (例) 縦割り保育も通して、子ども達の中心として遊びや活動を進んで考えられる体制にした。
	(2) 保育課程や目標は、職員全員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	✓				
	(2) 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画になっているか	✓				
	(3) 長期的な指導計画に基づき、具体的な子どもの生活に即した短期的な指導計画を作成しているか		✓			
	(4) 子ども一人一人の発達過程や状況を十分に踏まえて計画を作成しているか		✓			
	(5) 子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、実態に即した具体的なねらい及び内容を設定しているか		✓			
	(6) 具体的なねらいが達成されるよう適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにしているか		✓			
保育の目標	イ. 健康でたくましい子	✓				<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間を充実させ、サーキットや縄跳び、マラソン、ダンスなどを取り入れ、1年を十分に重たい時間を設けた。 ・小学校との交流を様々な機会を増やした。
	ロ. 情操豊かな子	✓				
	ハ. 社会性に満ちた正しい子	✓				
	ニ. 互いにいたわり助け合える子どもを育てる					
	ホ. 自然を大切にできる子どもを育てる					
	ヘ. 創造性と情緒豊かな子どもを育てる					

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点
保育の方法（目標達成の重要点）	(1) 一人一人の子どもの状況や家庭での生活の実態を把握して保育に生かしているか	✓				<p>・子ども達から自発的に遊びに参加したいと思える様な遊びの内容や環境を設定した。</p> <p>・縦割り保育では、年下の友達の前倒しと見たり、一緒に遊ぶ事で、思いやりの気持ちが芽生えた。</p>
	(2) 子どもが安心感と信頼感を持って活動できるよう子どもの主体としての思いや願いを受け止めているか	✓				
	(3) 生活リズムを大切に、健康安全で情緒の安定した生活ができ、自己を十分発揮できる環境を整えているか		✓			
	(4) 自己を十分に発揮できる環境を整えているか	✓				
	(5) 子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育しているか			✓		
	(6) 子どもの相互関係づくりや互いに思いやる気持ちを大切に、し集団の中での活動を援助する			✓		
	(7) 子どもが自発的、意欲的に関わられるような環境を構成し主体的な活動や相互の関わりを大切にしているか			✓		
指導計画の展開	(1) 指導計画に沿って保育が適切に展開されているか		✓			<p>・指導計画を基に、クラス以上見直し、未読見直しなど話し合い、主任やリーダーのアドバイスを、保育の改善に努めた。</p>
	(2) 評価結果をもとに保育の改善に努めているか			✓		
	(3) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか			✓		
日程時	(1) 1日の流れ（ディリープログラム等）は、現行でよいか。	✓				・その都度、見直している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か	✓				<p>・職員の負担を軽減しつつ、子ども達が楽しく参加出来る内容を、職員同士で話し合い決めた。</p>
	(2) 行事のねらいを計画や実施に生かし、評価改善の体制をとっているか	✓				
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れているか			✓		
組織・運営	体制	(1) 能率的、合理的な運営がされているか。	✓			<p>・平等に分担されているが、担当だけでなく、みんなが協力して、行事や保育を進める体制を築く事が出来た。</p>
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか	✓			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か	✓			
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	✓				・会議等は1時間程度短縮し、内容も進め方を工夫した。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく運営に関わっているか。			✓		・来年度は、1日1職員も参加出来る様な体制を取り入れた。

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点	
組織・運営	年齢別クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		✓			<p>・新保育指針に合わせた指導計画を作成し、職員間で意義や趣旨を咀嚼し、以上を、保育している。</p> <p>・以上を、来年度会議で意見交換をし、一貫性を保ち保育をいじけている。</p>
		(2) 年齢別・クラス目標に基づいて年間・月間・週間のねらいは、適切に設定されているか。		✓			
		(3) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		✓			
		(4) 評価、資料、記録を保管し、活用しているか。		✓			
組織・運営	保健・安全指導	(1) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	✓				<p>・適切に実施し、準備なく行う事が出来た。</p> <p>・保健だよりを通じ、保護者への情報提供をしている。</p>
		(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	✓				
		(3) 子どもの安全確保のため家庭、地域社会、関係機関などと連携を図っているか	✓				
研究・研修		(1) 園内研修の計画・運営は適切か	✓				<p>・フォローアップの研修を受講し専門的な知識を身に付け、園に反映して保育の質を高めたと。</p> <p>・園内研修で毎月、看護師による研修を取り入れた。</p>
		(2) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか	✓				
		(3) 各種研究会、研修会、講習会での内容を復命し、研究成果を保育に反映させているか	✓				
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか	✓				<p>・個人情報取り扱いに十分に気を付け、適切に管理している。</p> <p>・書類を持ち帰らない様に、勤務時間内に処理出来る様にしていった。</p>
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	✓				
		(3) 帳簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	✓				
施設・整備		(1) 施設内外整備の安全点検を計画的に行っているか	✓				<p>・安全点検を毎日行い、AVソケット等入れ、防犯対策を強化した。</p> <p>・職員は、子供の安全に配慮する様、環境整備をした。</p>
		(2) 不審者に対する周到な配慮を行っているか	✓				
		(3) 保育室は温かな家庭的な雰囲気の間となるとともに生き生きと活動できる場となるよう配慮しているか	✓				
		(4) 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自ら周囲の子どもや大人と関わっていく環境を整えているか	✓				
		(5) 乳幼児が、活動しやすいようにその都度換気や温度・湿度に配慮しているか。		✓			

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか	✓				適切に処理している。
施設間交流地域連携	(1) 他施設との交流の中で子どもが楽しく過ごし、充実感を味わうことができるよう配慮や援助を行っているか		✓			授業参観、保育参観への参加、事前に打ち合わせをし、相互理解を促し、実施後は
	(2) 担当者が事前に打ち合わせを行い、互いに保育教育の理解を図っているか		✓			ので、交流を深めている。 地域の行事に積極的に参加している。
	(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか		✓			(母の日発表、ひな祭り) 文化祭、七夕)
子育て支援の推進	(1) 地域の子育ての場として開放しているか			✓		、子育て相談相談の場には、保健師と情報交換し、相談しやすくなった。
	(2) 地域に住む子ども同士、親子と一緒に遊ぶことができる場の設定を行っているか			✓		、保護者が見守りながら積極的に相談を受けている。
	(3) 医療機関、発達支援センターなどの専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか		✓			
開かれた保育園づくり 社会的責任	(1) 子どもの人権に十分配慮するとともに子ども一人一人の人権を尊重して保育を行っているか		✓			、地域の行事に積極的に参加している。
	(2) 地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育内容を適切に説明するよう努めているか		✓			、子ども一人一人の人権を尊重しながら保育しているが、更に自らの保育を振り返る様、フィードバックを取り入れていきたい。
	(3) 入所する子どもなどの個人情報適切に取り扱うとともに保護者の苦情などに対し解決を図るように努めているか		✓			
情報の発信など	(1) 園だより、クラスだより、ホームページなどで施設の情報を発信しているか	✓				、園だよりや掲示物等で、情報を発信している。
	(2) 行事や子育て支援事業などを地域の連絡会や小学校に対して周知しているか		✓			
	(3) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		✓			



園における自己点検・自己評価

The display board contains four panels of forms, each with a title and a table structure. The titles are:

- Top-left: 園舎・設備の点検 (Inspection of Building and Facilities)
- Top-right: 園児の生活 (Children's Life)
- Bottom-left: 園の運営 (Nursery Operation)
- Bottom-right: 園の安全 (Nursery Safety)

Each panel contains a table with multiple columns and rows, likely for recording inspection dates, findings, and corrective actions. The text within the tables is too small to read clearly.

